管機連Daily News

2025年5月15日（木）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆月次GDP、3月は0.5%減　日経センター

・日本経済研究センターがまとめた3月の国内総生産（GDP）は物価変動を除いた実質で前月比0.5%減。マイナスは2カ月ぶり。米国の関税政策が発動する前の駆け込み需要が一服したことで輸出が2.6%減少したことが響いた。個人消費は0.4%増。設備投資は生産用機械の出荷が落ち込み3.1%減った。輸入は0.2%減だった。

◆金融庁、地銀向け公的資金制度延長を検討　10年以上軸に

・金融庁は財務基盤強化のために地域金融機関に公的資金を注入する制度を大幅に延長する検討に入った。現行制度は2026年3月末に申請期限が切れる。10年以上を軸に延長を検討し、地方銀行が地域経済の下支えに注力できる環境を整える。あわせて地銀の再編を促すための交付金制度も使いやすくする。

◆コンビニで市販薬の購入可能に、改正薬機法が成立　ローソンは歓迎

・薬剤師などがいないコンビニエンスストアで市販薬（一般用医薬品）を買えるようにすることを盛り込んだ改正医薬品医療機器法（薬機法）が参院本会議で可決、成立。医薬品販売に取り組んでいたローソンは規制緩和に期待感を示す。薬剤師や登録販売者がいないコンビニなどが薬を売る場合、店舗にいない薬剤師などからオンラインで説明。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆清水建設、日本道路を完全子会社化　552億円でTOB

・清水建設は東証プライム市場に上場する子会社、日本道路を完全子会社にすると発表した。TOB（株式公開買い付け）を実施し、出資比率を50.1%から100%にする。取得総額は約552億円。建設業界は人手不足や資材費高騰で工期の延長や再開発案件の見直しが広がる。親子上場を解消してグループの経営資源を有効に活用する。

◆4月100㎡未満一戸建て、東京都が初の7000万円台に

・東京カンテイは主要都市における4月の新築小規模一戸建て（土地面積50㎡以上100㎡未満）の供給動向を発表。首都圏は反転上昇、近畿圏は連続上昇、中部圏は連続下落。首都圏の平均価格は、前月比1.9%増の5549万円と3カ月ぶりに上昇。東京都は4.8%増の7186万円と反転上昇、2014年4月の集計開始以降初の7000万円台となった。

◆ZEHの定義見直しへ、断熱等級6と蓄電池を要件に

・経済産業省の総合資源エネルギー調査会は第48回省エネルギー・新エネルギー分科会省エネルギー小委員会で、ZEHの定義の見直し案を示した。断熱・省エネ性の要件を、GX志向型住宅と同じ「断熱等級6・一次エネルギー消費量削減率35%以上」に引き上げ、戸建て住宅ではさらに蓄電池と高度エネルギーマネジメントを要件に追加する。

≪　注目商品　≫

■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。

■エービーシー商会、アクリル系人工大理石コーリアン®製洗面ボウル

・高級感あふれる色柄と質感が魅力の洗面ボウル。9色のカラーバリエーションと2つのサイズをもつ新しいシリーズで、石目柄や流れ模様、コンクリート調など上品でシックな色柄を中心にラインアップ。排水部分をボウルと同素材の排水キャップで隠し、より統一感ある洗面空間に。

■シャープ、4K有機ELテレビ「AQUOS QD-OLED」「AQUOS OLED」

・4K有機ELテレビ『AQUOS QD-OLED』＜HS1ライン＞と『AQUOS OLED』＜HQ1 / HQ2ライン＞の計8機種を発売。最新世代「量子ドット有機ELパネル」の輝度性能を最大限に引き出し、輝きが約2倍に向上。AIが各被写体の前後関係を認識、奥行きのある臨場感豊かな映像に。